

令和6年10月10日

保護者の皆様

豊島区立長崎小学校
校長 野村 佳男

学校参観週間アンケートから

9月11日(水)～14日(土)に行った参観週間には、たくさんの方にご来校いただきました。ありがとうございます。アンケートへのご協力もありがとうございます。回答数は、58枚(家庭数229、回収率は25%)です。今年度も多くの新1年生の保護者の皆様にも参観いただきました。

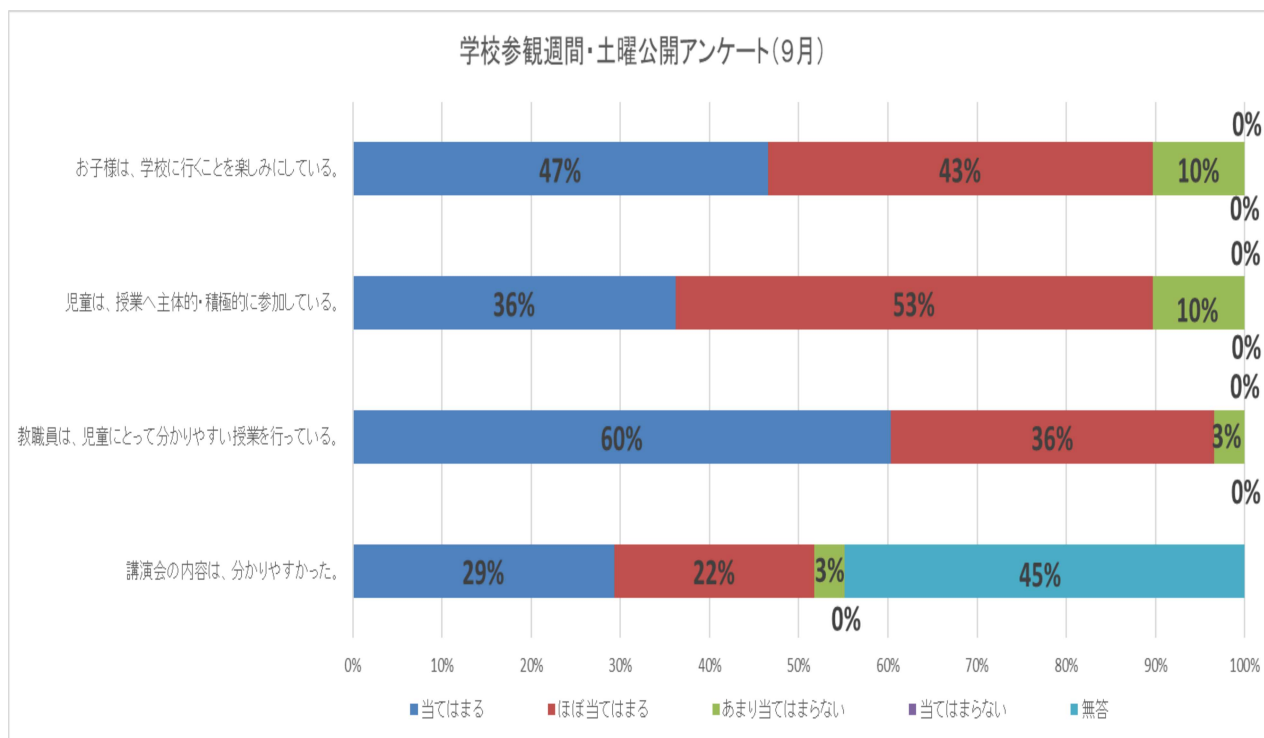
アンケートから(抜粋)

- 子供たちが真剣に授業に向き合っている姿が良かったです。先生が準備をしっかりと授業してくださっていることが分かりました。
- 道徳での命の大切さの話は、とても大切だと思います。普段、子供に向かって命について話す機会があまりないので、とてもよい時間となりました。
- ブックトークで絵本を読んでもらっているとき、集中してよく聞いていました。
- 算数の授業は、少人数で発言の機会も多く、先生もよく目をかけてくださり、いいなと思いました。
- 先生方が子供のがんばりをほめ、分からない問題について一緒に考えていてすばらしかったです。
- 道徳の授業について、なんとなく押しつけがましいイメージをもっていたのですが、今日の講演を聴き、日頃の積み重ねと合わせて豊かな心を育てるものなのだとよく理解できました。その後、参観した道徳科の時間も、先生のけがという身近な話から、子供たちが前向きに考えている様子が見られてよい環境だなと感じました。
- 初めて英語の授業を見ました。子供たちみんなが楽しそうに英語をやっている姿を見ることができて良かったです。
- 下の子も連れて行ったのですが、ご配慮いただき、ありがとうございます。

- 普段、教科書・ノートを持ち帰ってこなくて、子供たちが字を書けるのか不安だったので、授業を見られてよかった。宿題の漢字学習などもドリルパークで、指で書くだけで、実際に鉛筆をもたせると書けないことが多く、心配している。タブレットやアプリを立ち上げるのに時間がかかり、子供がイライラしている。その間に、ノートだったら、練習ができるのにもったいないと思っている。せめて低学年のうちだけでも、アナログ宿題にならないか。
- 先生の話の語尾が聞き取りづらく、「今、何をしているのか」理解が難しい場面がたびたびありました。今後の改善を望みます。

※アンケートは、全教職員で内容を共有しています。

9月の保護者アンケート（学校参観週間・道徳授業地区公開講座）



設問1 「お子様は、学校へ行くことを楽しみにしている」

この設問に対して、10%の方が「あまり当てはまらない」と回答しています。これは、児童数から考えると30名弱に当たります。本校では、豊島区で実施している心理検査や各種アンケート、SCによる5、6年生の全員面接等を実施し、一人一人の児童の様子を把握することに努めています。これからも、児童一人一人の困り感をつかみ、支援を行っていきます。保護者の皆様も、お気づきの点がありましたら、学校へ連絡をお願いします。

設問2 「児童は、授業に主体的・積極的に参加している」

この設問に対して、89%の肯定的な回答をいただきました。しかし、10%の否定的な回答をいただいています。今後、授業改善推進プランに則り、授業改善を図っていきます。

設問3 「教職員は、児童にとって分かりやすい授業を行っている」

この設問には肯定的な回答が96%という高い評価をいただきました。常にこのような評価をいただけるよう努力します。

設問4 「講演会の内容は、分かりやすかった」

今回は道徳授業地区公開講座として、東京家政学院大学 元教授 長谷 徹 先生にご講演をお願いしました。アンケートにもあったとおり、「分かりやすかった」とのご意見を多数いただきました。今年度、ご参加いただけなかった皆様には、ぜひ、来年度はご参加いただければ幸いです。